

2019年11月16日(土)

東京都医師会講演

東京都の 外国人患者受入れの 現状

東京大学医学部附属病院

国際診療部 山田秀臣

本日のお話

- 外国人患者の分類と都内の傾向
- 在留外国人患者
- 外国人旅行客からの患者
- リスクのお話
- まとめ

システム・組織が望まれる

国際診療部→その後日本の大学病院へ

2012年秋に正式稼働

- 外国人医療者受入れ
- 海外Inbound患者対応
- 職員教育
- 院内環境整備



病院の国際化

対応を迫られる現場

- 在住外国人患者
- 外国人旅行者
- 渡航外国人患者



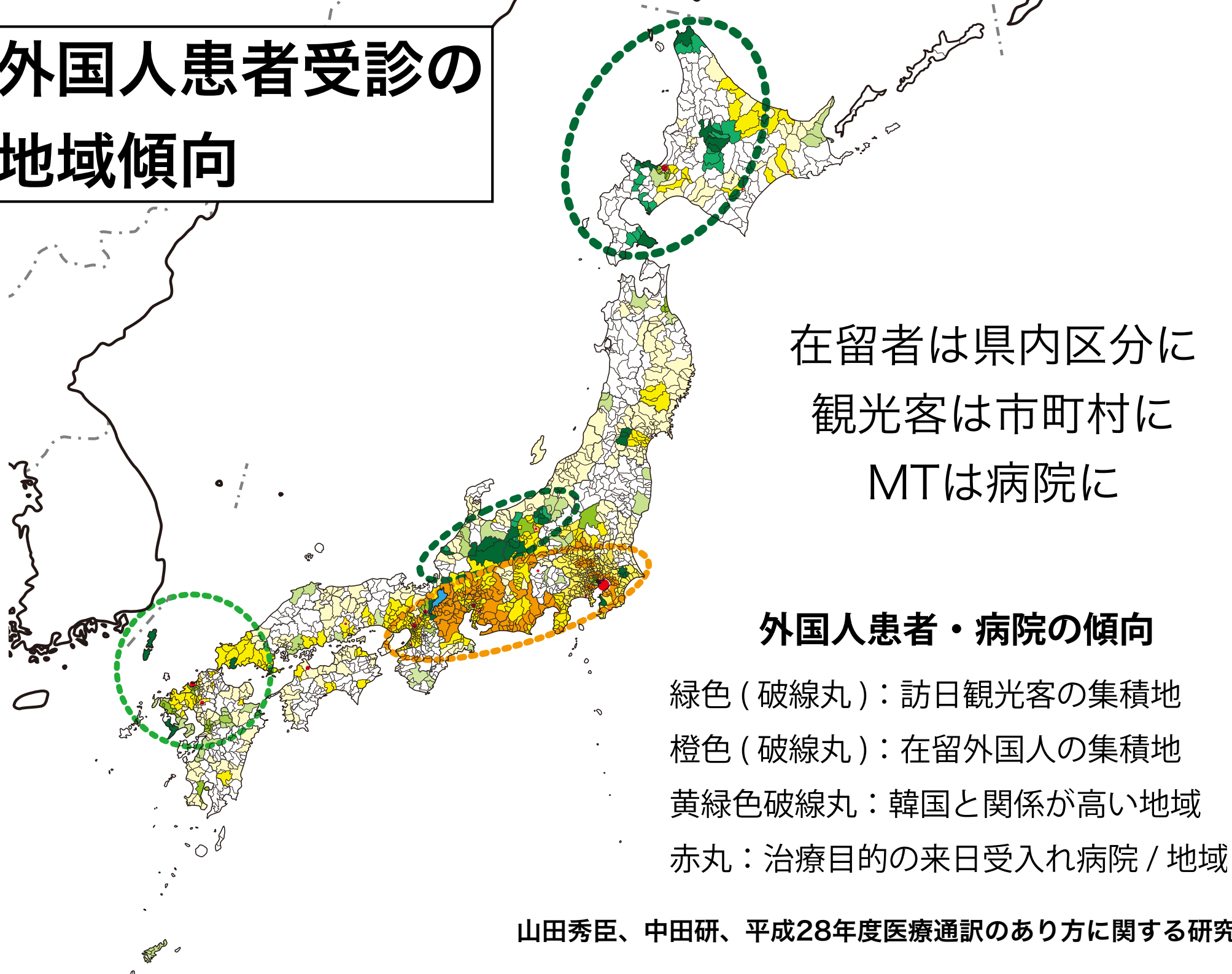
メトロポリタン都市, Tokyoからみる外国人患者の課題：
2020年に向けて、山田秀臣、医学のあゆみ7月9日号、2016

どのような患者に遭遇するか

外国人患者タイプ別医療機関受入れ割合（日本全体）

	外来	入院
在留（在住者）	75%	53%
訪日客（旅行客）	42%	25%
メディカル・ツーリズム （渡航患者）	17%	11%

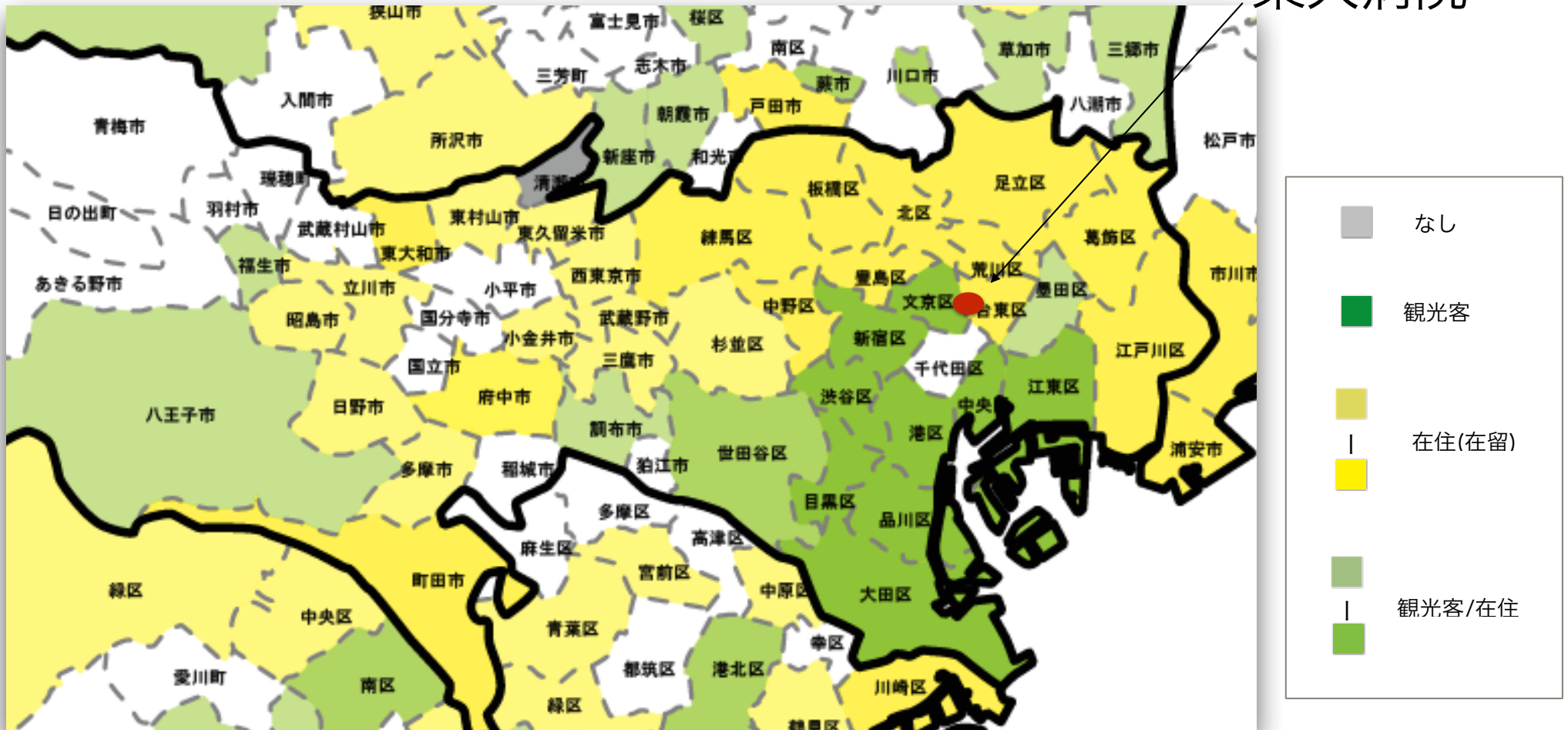
外国人患者受診の 地域傾向



東京都はどうか？

きれいに分かります

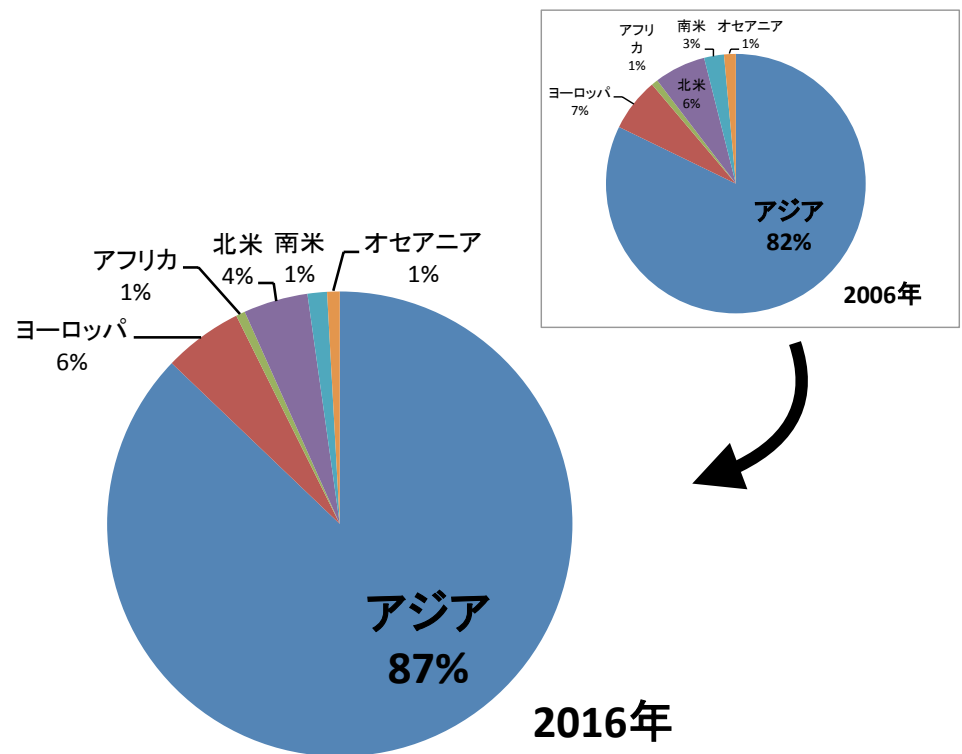
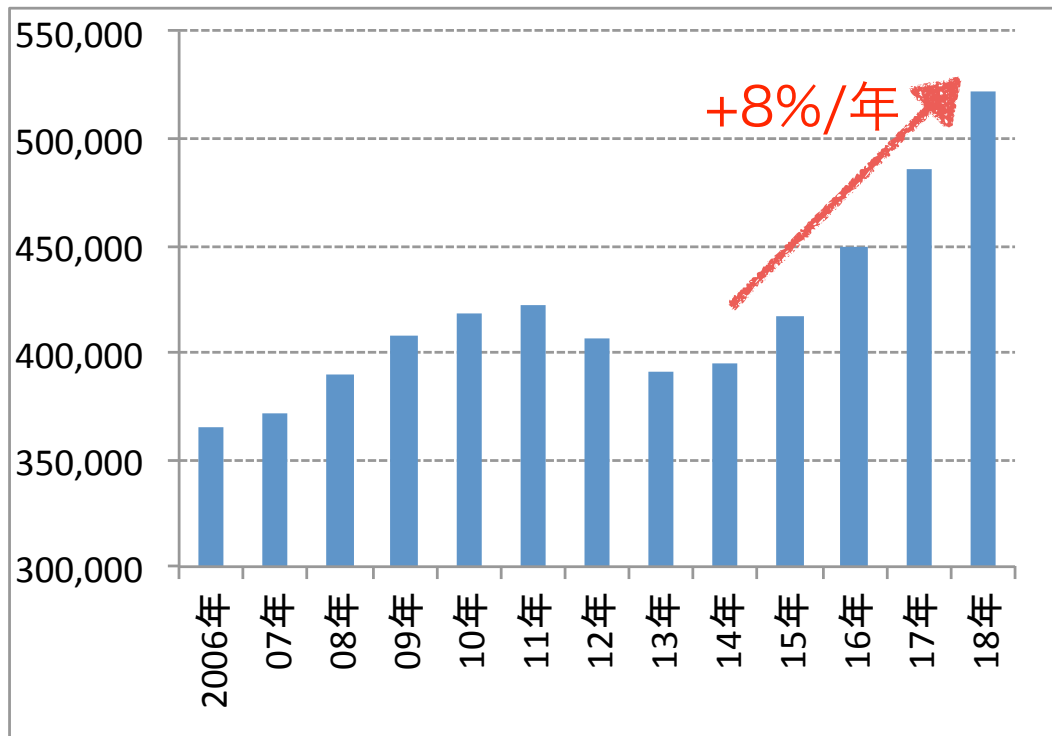
東大病院



山田秀臣、中田研、平成28年度医療通訳のあり方に関する研究

在留外国人の医療

東京都の最近の人口推移、背景

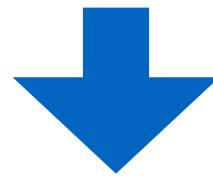


東京都に住む外国人

- 約4%は既に外国人（51万+3.5万/年）
- 区部で84%、人口比割合10%を越える区も
- 生活者として外国人対応整備が必要

東京都統計

<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/index.htm>



外国人用医療窓口が不明瞭だった
外国人医療（政策2018年～）

東京都医師会・島崎美奈子担当理事
東京都福祉保健局

在留外国人の国籍

東京都の統計データから（直近10年間の変化）

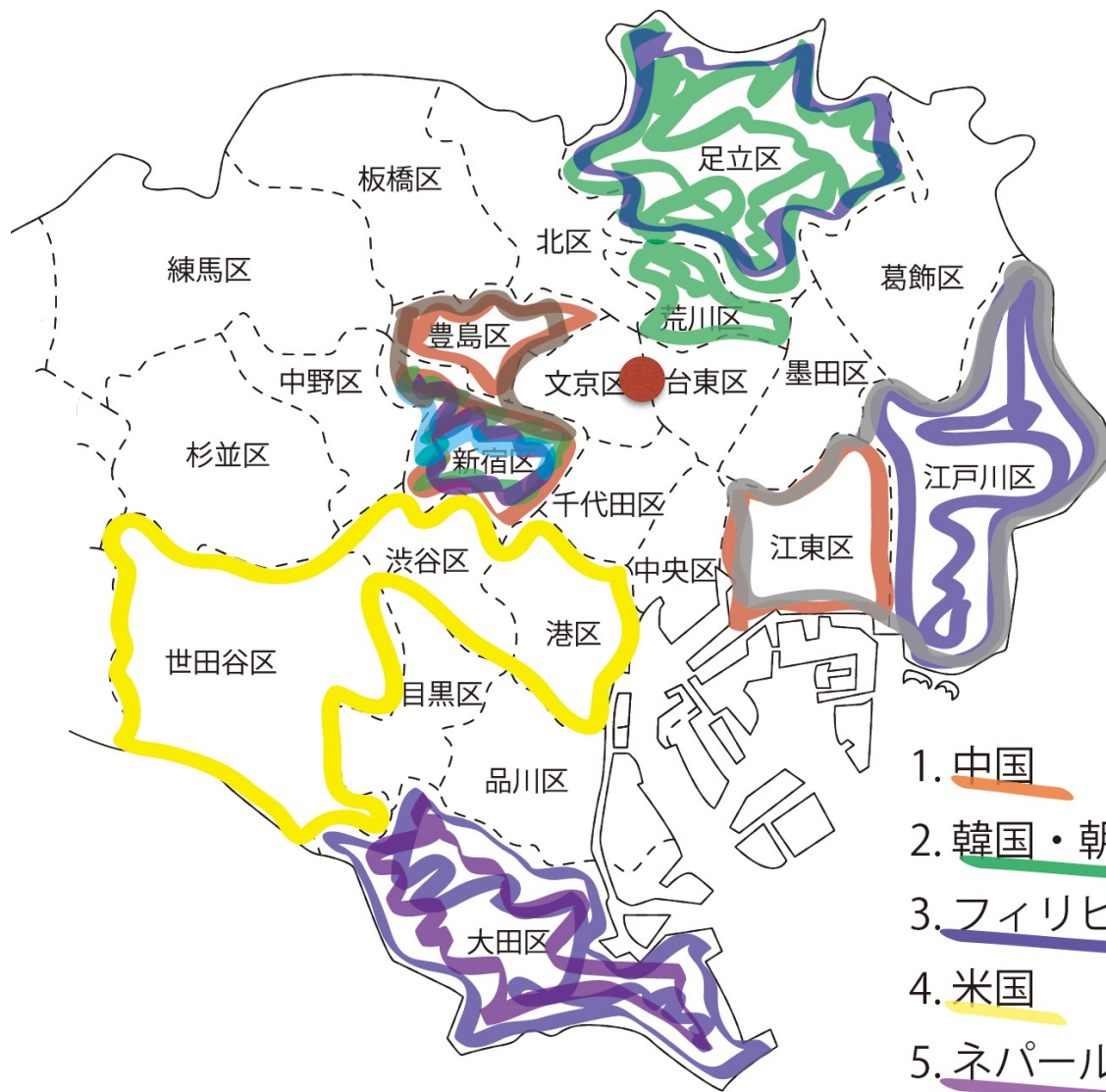
	国など	2009	2019	増加率
1	中国	145,320	213,767	147%
2	韓国・朝鮮	117,567	92,418	79%
3	ベトナム	3,246	36,227	1116%
4	フィリピン	31,974	33,219	104%
5	ネパール	5,083	27,290	537%
6	台湾		19,726	
7	米国	19,408	18,508	95%
8	インド	9,418	12,130	129%
9	ミャンマー	4,680	10,395	222%
10	タイ	6,907	8,101	117%

その他の内訳（東京都）

- ・ アジア 35カ国
- ・ ヨーロッパ 50カ国
- ・ アフリカ 47カ国
- ・ 北米 21カ国
- ・ 南米 11カ国
- ・ オセアニア 10カ国

▶逆に言えば世界中の17カ国以外は居住者はいない

都在留外国人：特色ある区域性



- 同じ民族は集積
- 地域=外国人=病院

1. 中国
2. 韓国・朝鮮
3. フィリピン
4. 米国
5. ネパール
6. ベトナム
7. インド
8. タイ
9. 英国
10. ミャンマー

* タイには地域差はない 東京都外国人人口より図を作成

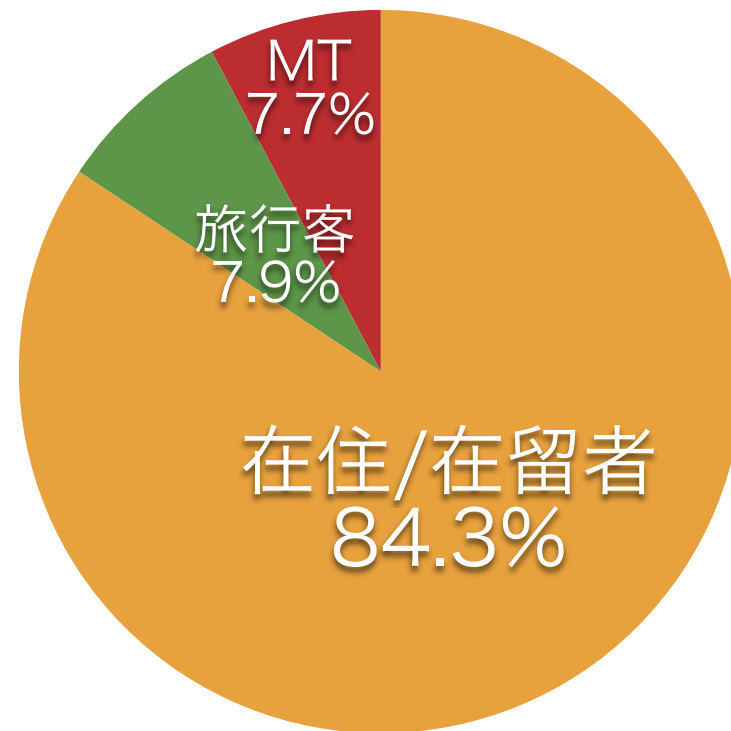
東大病院の現状-1

今の東京、日本の将来の縮図

全患者の初診患者数

MT: Medical Travel

	H26年度	H27年度	H28年度
外国人患者数	1,938	2,015	2,524
総患者数	48,987	48,255	48,573
割合(%)	3.96	4.18	5.20



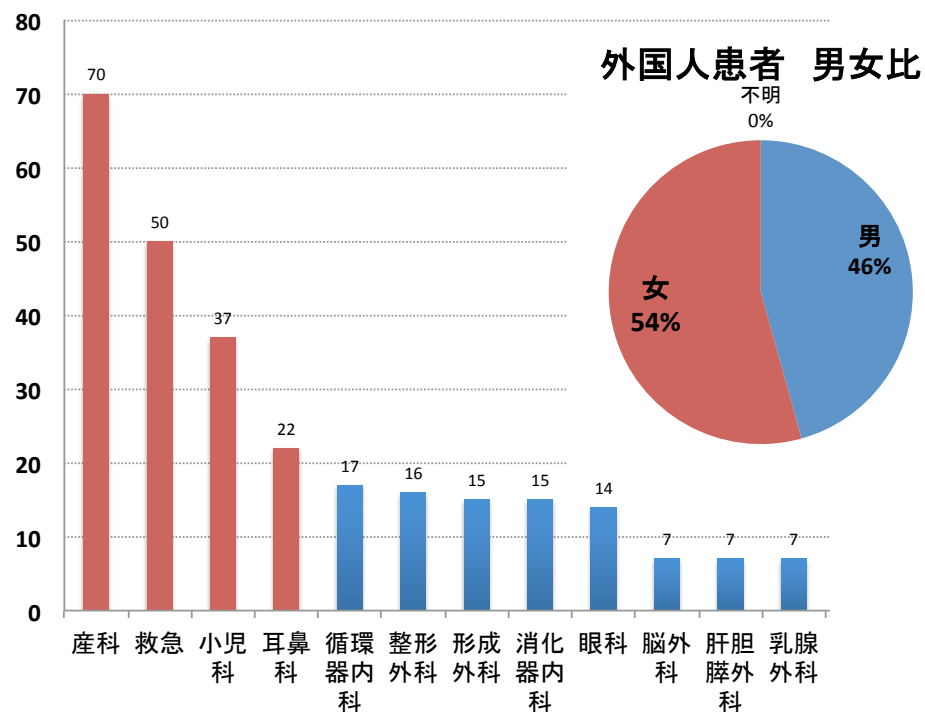
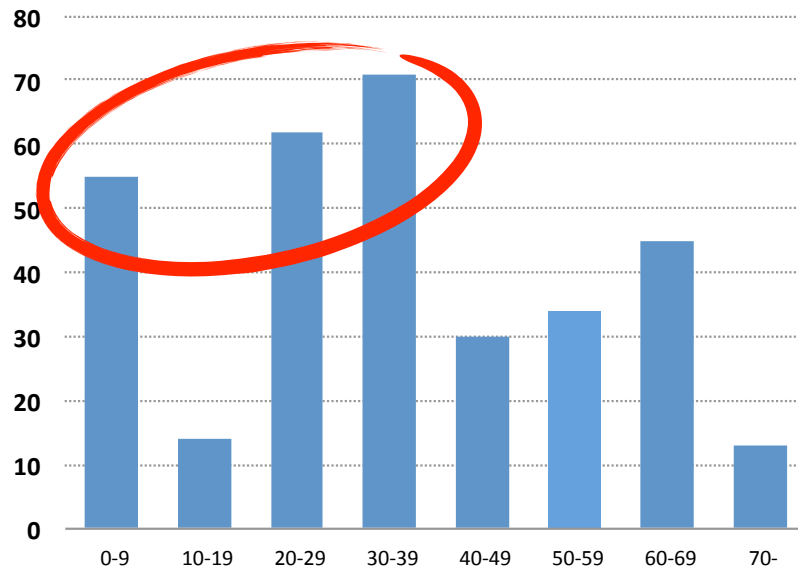
患者は既に国際化している

東大病院内資料(2016年)

特徴を入院患者で見る

- 小児科、産科が多いのが特徴
- 40歳以上は日本人と同じ疾病（日本語力は別）

外国人患者の年齢別傾向



在留外国人患者のまとめ

多文化共生社会へ医療も脱皮

- アジア、非英語が増加
- 特定の診療科、日常の患者
- 地区によって国籍が異なる
- 保険診療内で対処（外国人患者コスト+3-5万/人*）

→多言語対応を安い費用→電話通訳の利便性

*平成29年度厚生労働省科学研究「医療通訳の費用対効果」

外国人旅行者の特徴

4,000万人達成のその前に



2018年は3,000万人↗

東・東南アジア↗

欧米はたった約1割

訪日外客↗、国策ですよな？

出国税は医療対策にも使えます！声を出していきましょう

- 1.5%の旅行者が医療機関に行く必要があった。
- どの医療機関へ行くか聞くのはホテル（民泊2.6%↗）、保険会社、観光案内所。実際半分以上はあきらめている。
- 旅行保険加入73%。仕組みを知っていますか？
→信用診察は危ない。Pay & Claim（患者支払い）

診断と治療、2018年11月1日、外国人患者の医療費対策

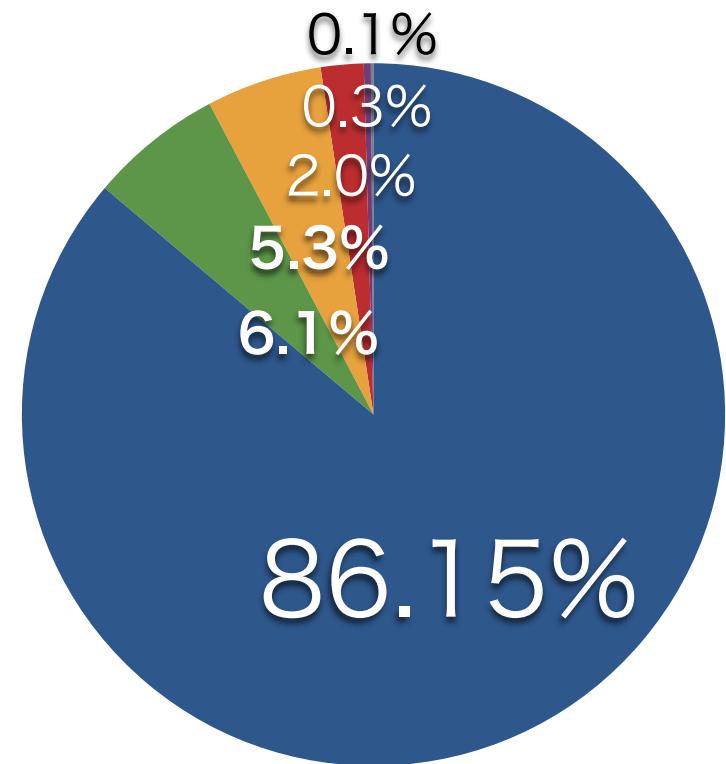
訪日外国人旅行者の医療に関する実態調査2018など



訪日外客について

- 観光庁が開示している最新データ(2018年4月)
- 総数 28,691,073人(2017年)

地域別	%
アジア	86.2
北米	6.1
欧州	5.3
オセアニア	2.0
南米	0.3
アフリカ	0.1



訪日外客; 国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに日本を経由して第三国へ向かうために日本へ一時的に入国した通過客を加えた入国外国人旅行者

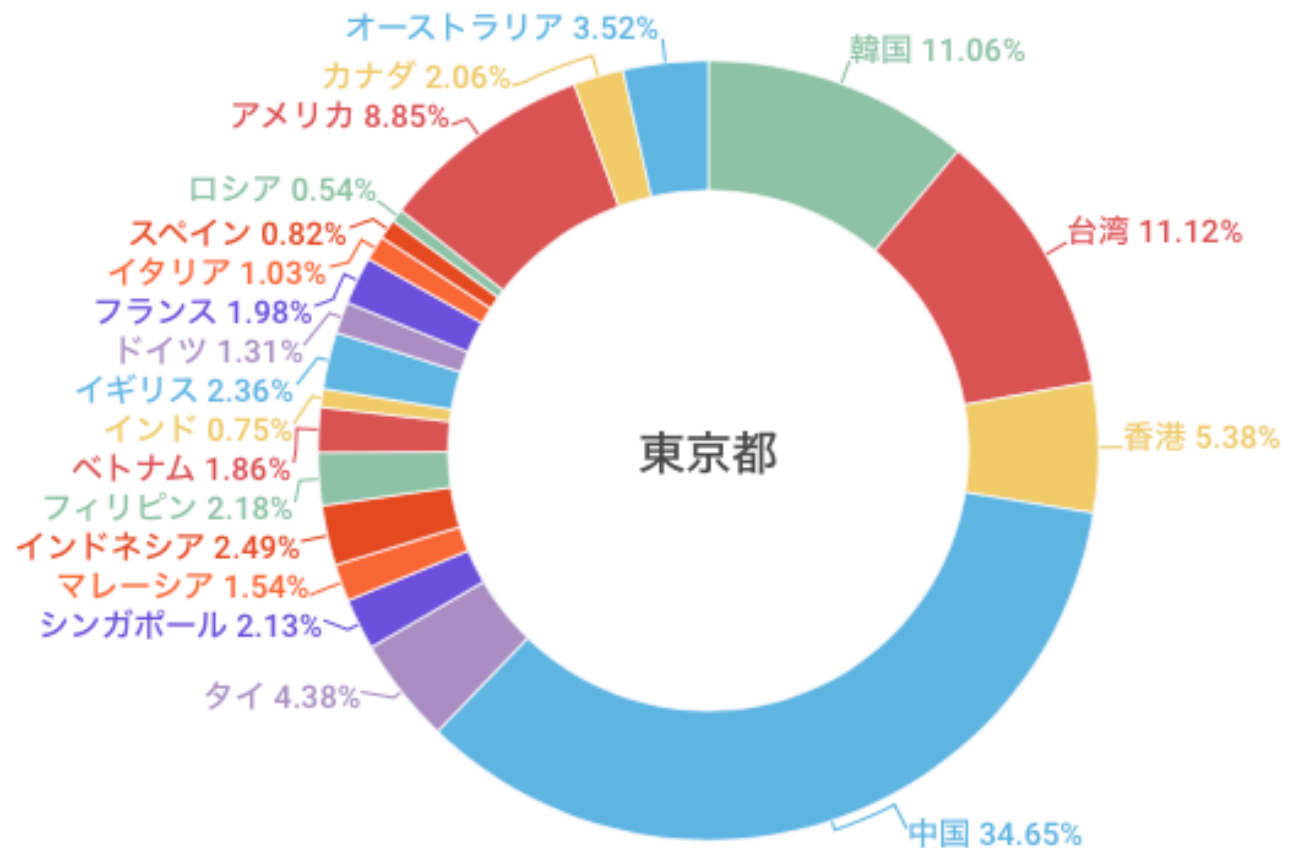
東京都の訪日客(1423万人)

東京都に来ている訪日外国人の割合

韓国↘、香港↘で
中国の一人勝ち

多様性のある国籍

初めての日本



出典：訪日ラボ

東大病院の現状-2

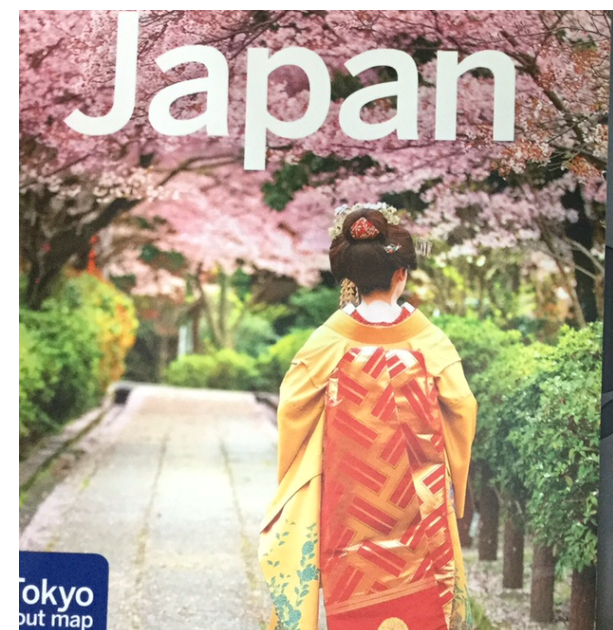
OH NO...



恐るべき事実→なぜか？

初診の救急外国人割合

救急	H26年度	H27年度	H28年度
外国人患者数	357	498	630
総患者数	5,108	5,702	6,096
割合(%)	7.00	8.73	10.3



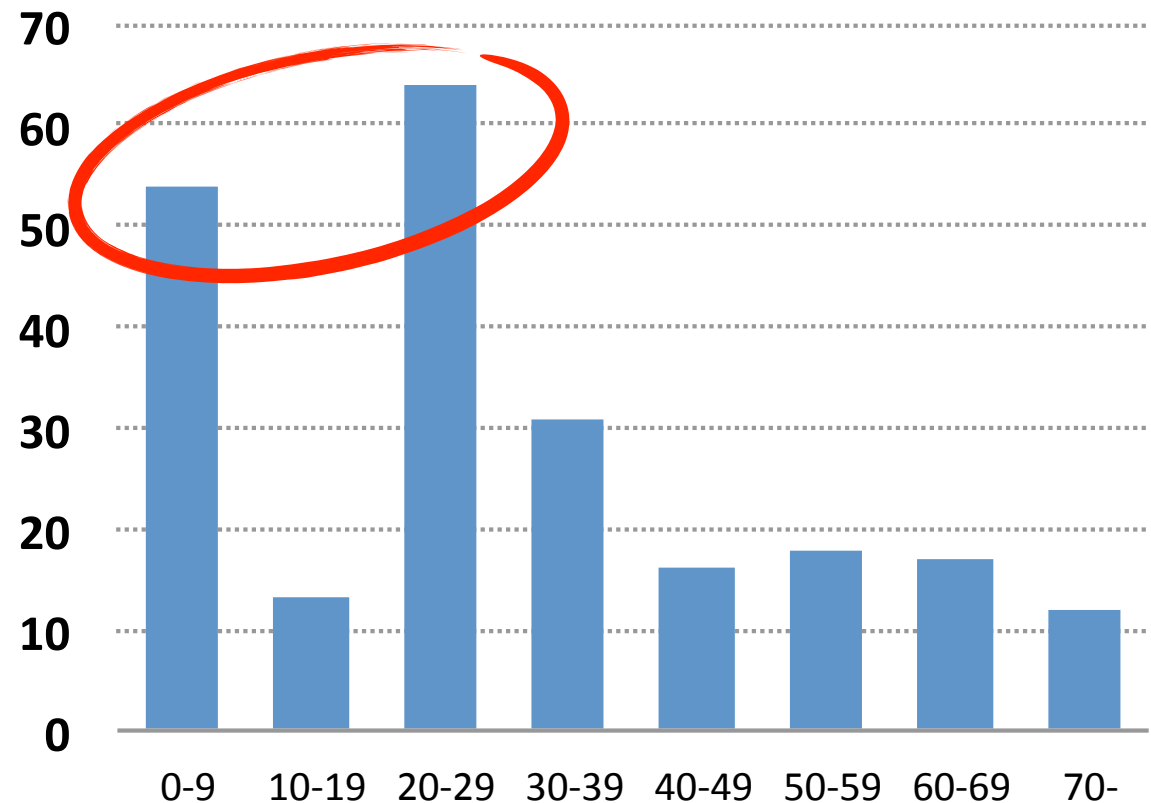
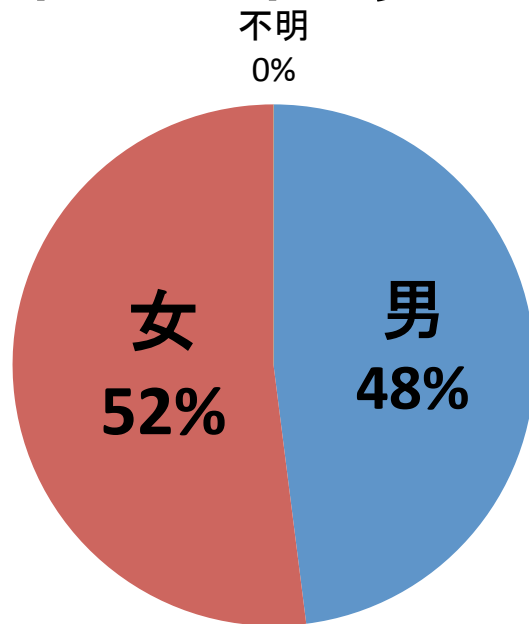
国際医療福祉大学
岡村准教授の御指摘

旅行者（の患者） について

2014年8月～16年7月(2年間)、225名

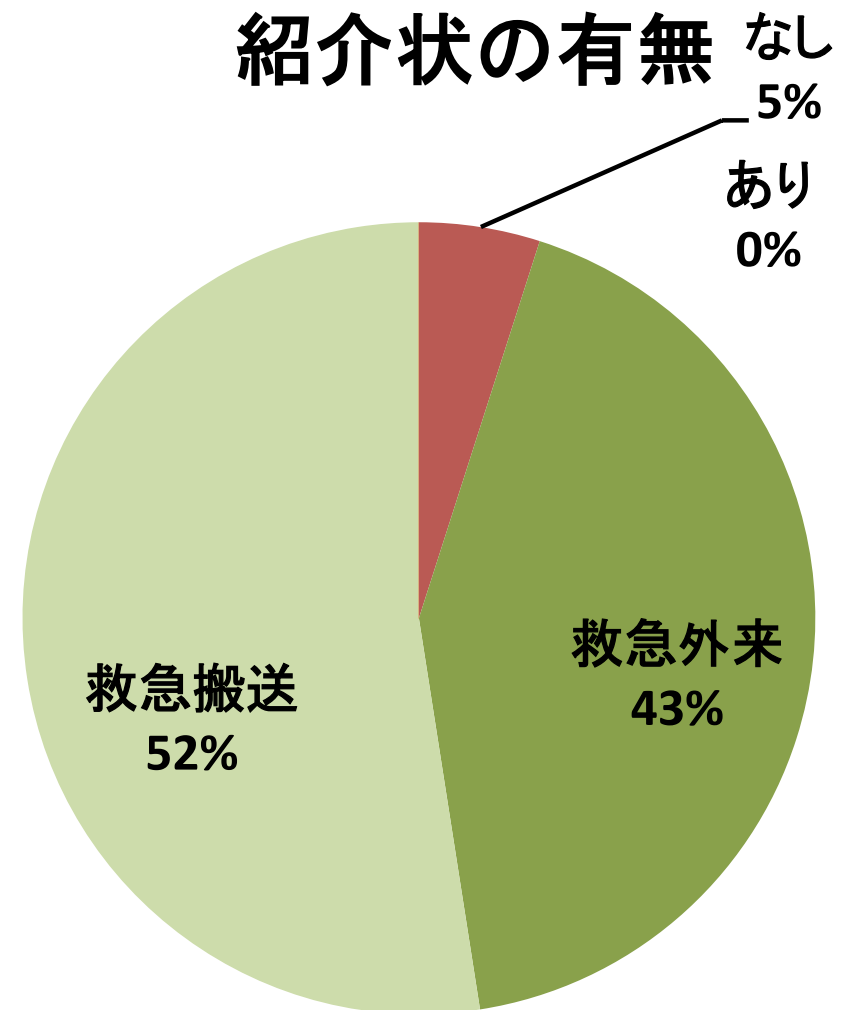
外国人患者の年齢別傾向

外国人患者 男女比



どのようにやって来るか？

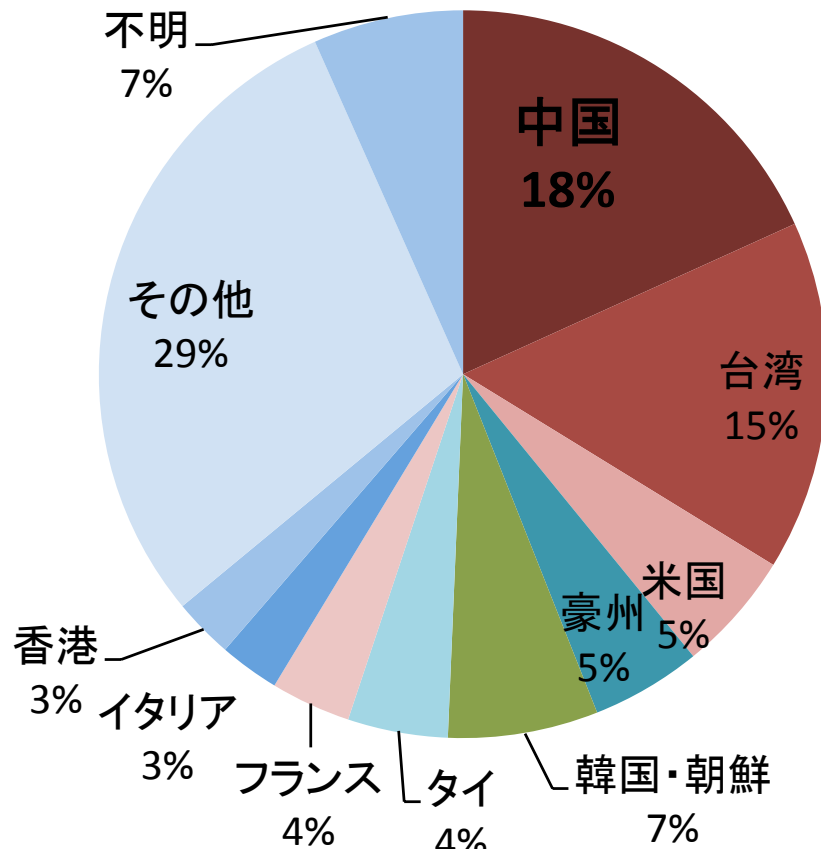
半分以上は救急車に乗って
やって来る



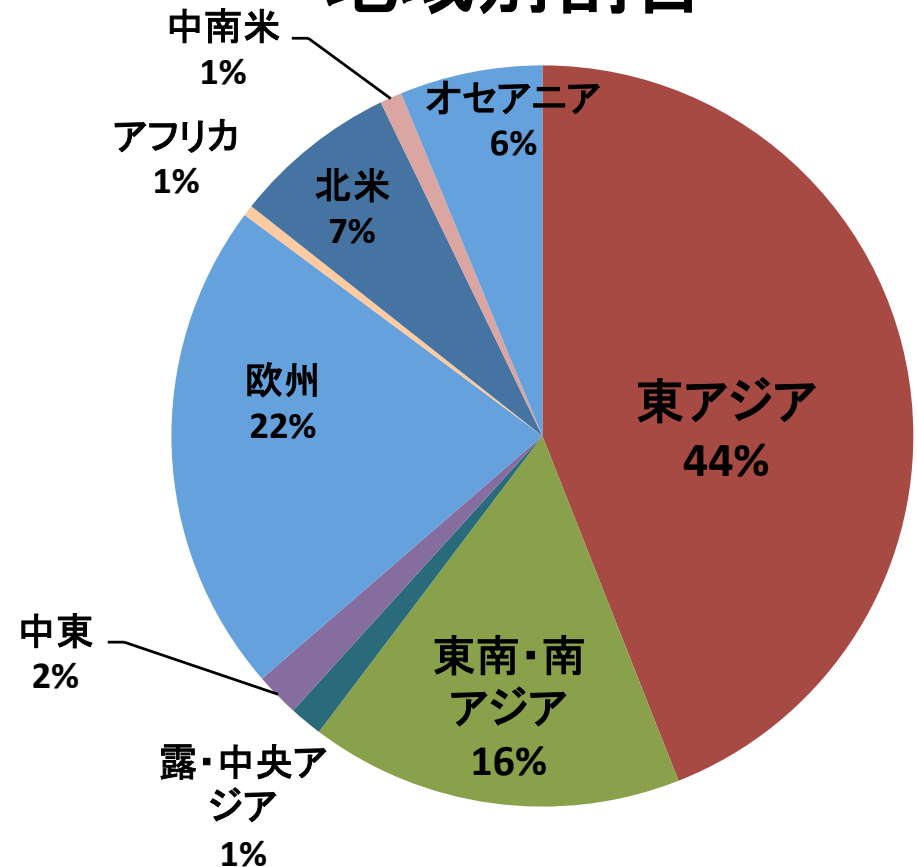
旅行者の国籍

東アジアも多いが欧米もそれなりにいる

国籍別割合(上位9カ国)



地域別割合





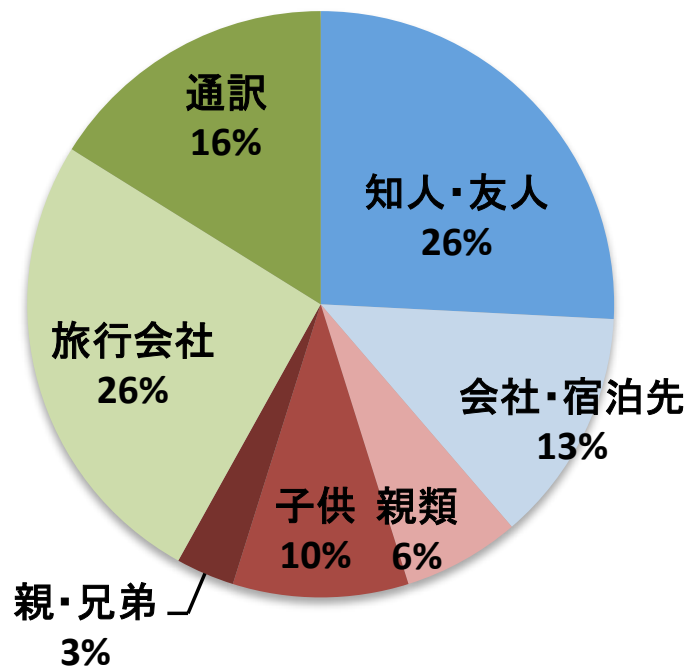
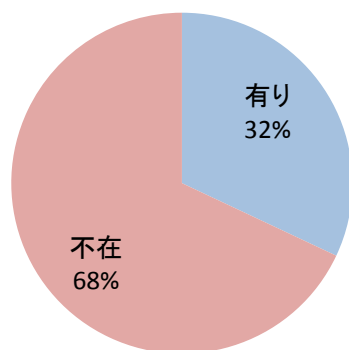
対応について

カルテに日本語がダメと書いてあった **40%**

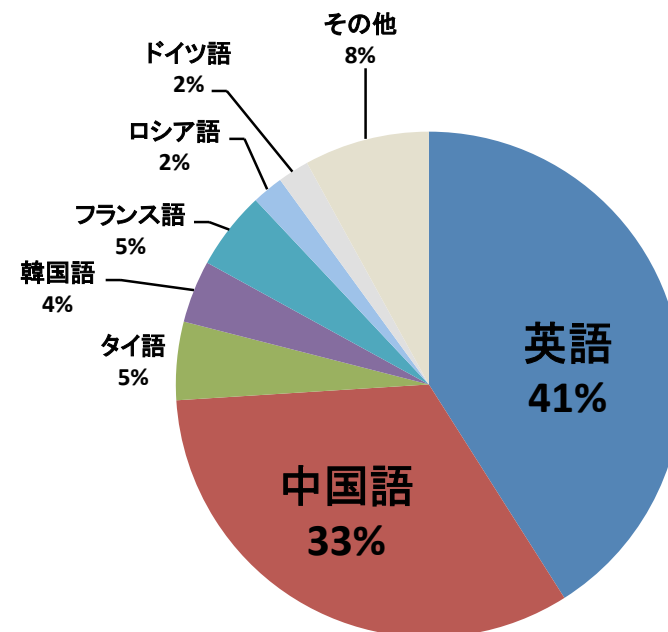
英語と中国語で**74%**

2-2 対応者の内訳

2 対応者の有無



4 患者の対応可能な言語

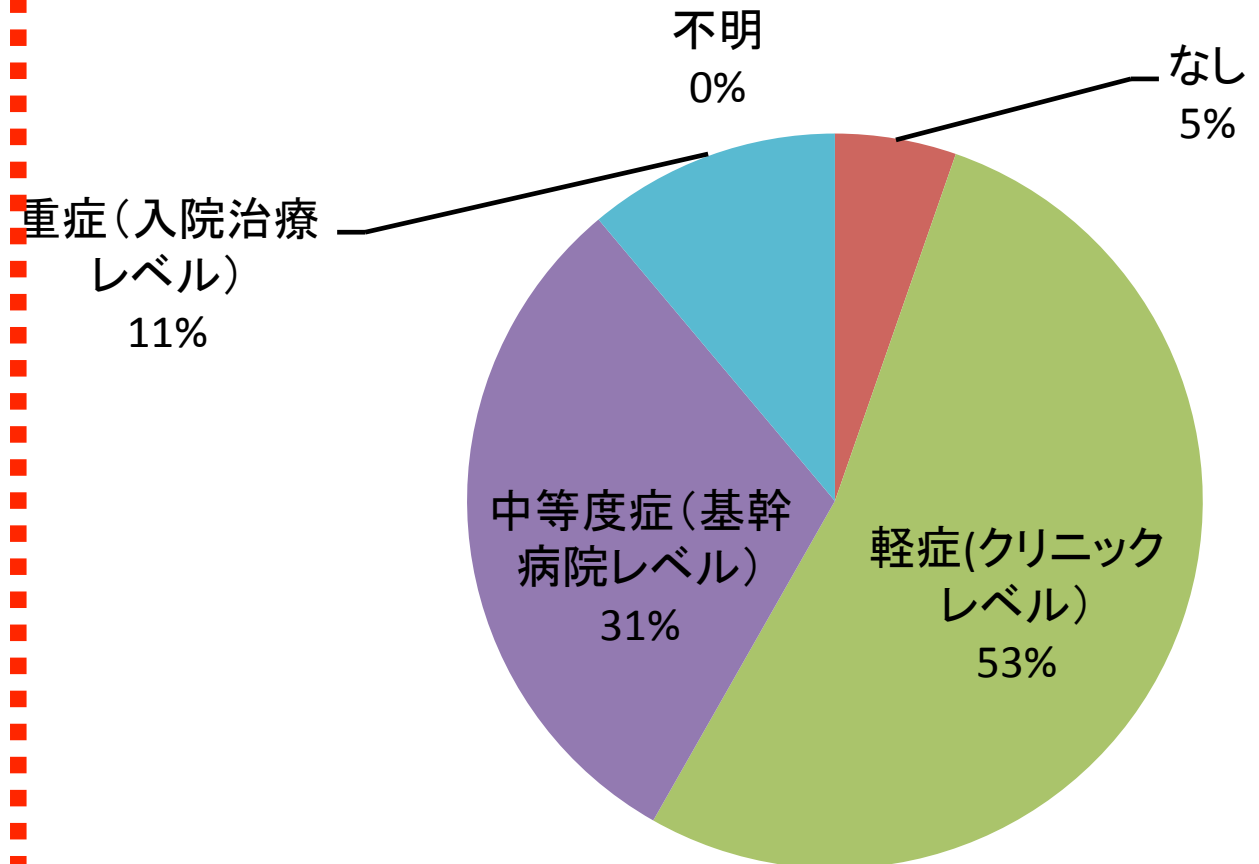


重症度は？

重症or軽症で、真ん中が少ない

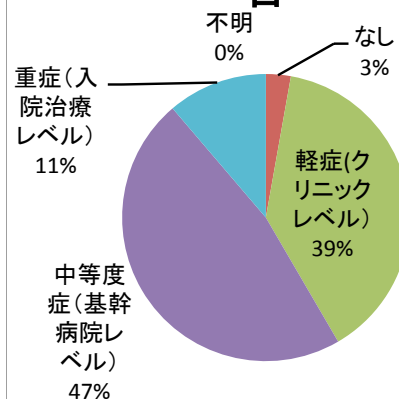
旅行者のみ

外国人患者重症度割合



外国人患者全体

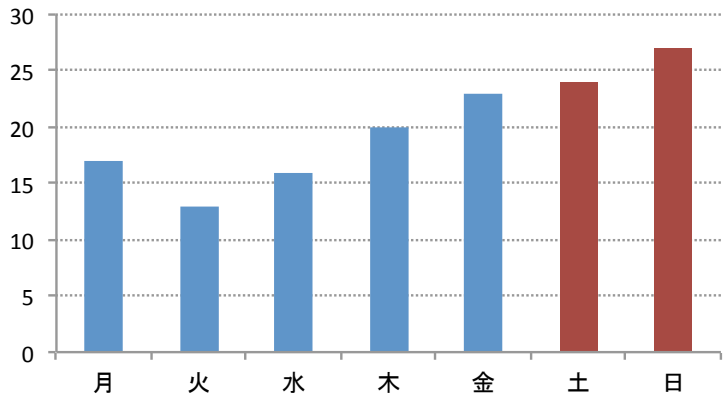
外国人患者重症度割合



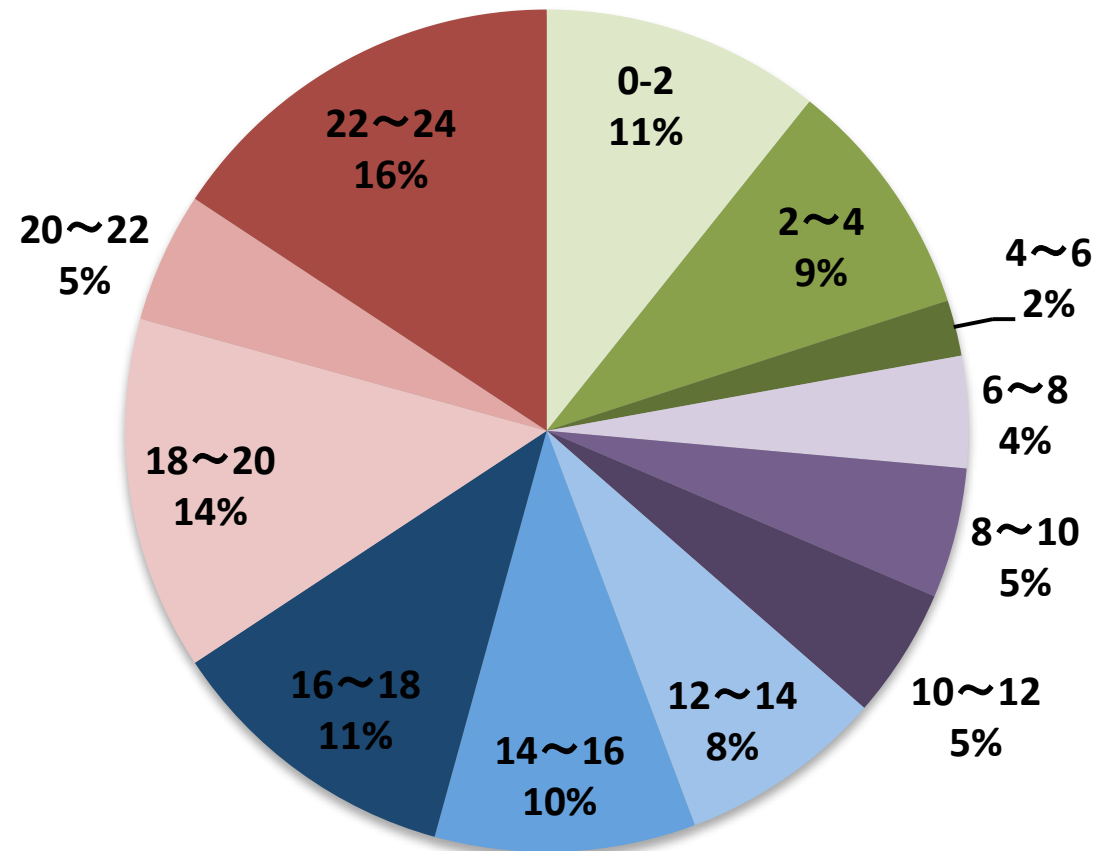
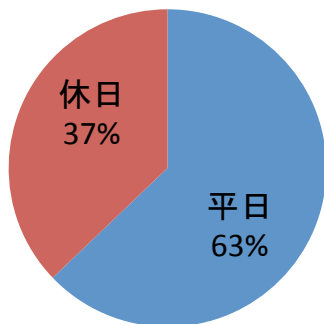
いつ来るか？ 今かも

夕方夜間・週末が多い

来院時間



平日・休日割合

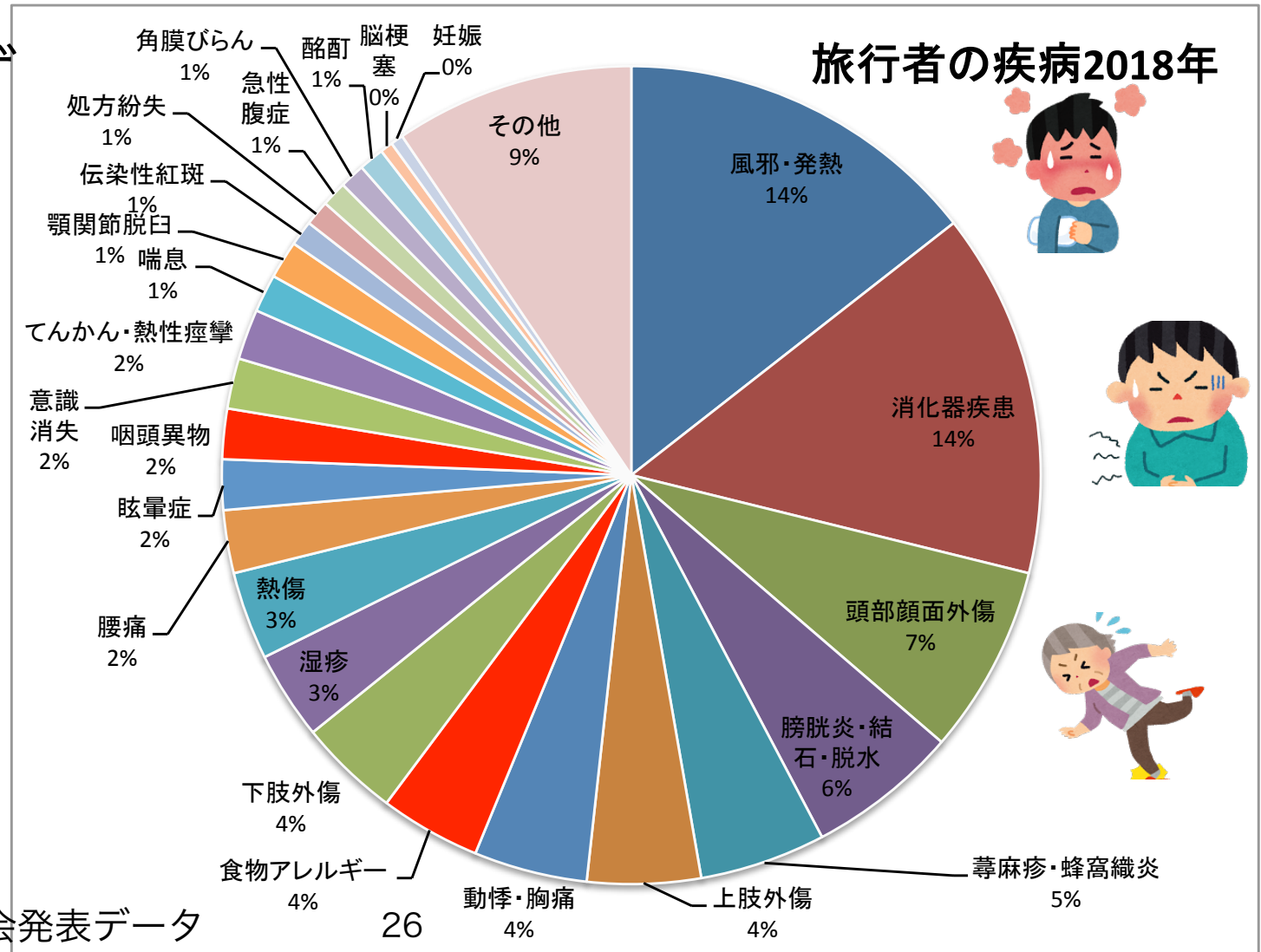


どんな病気か？

怖い食物アナフィラキシー

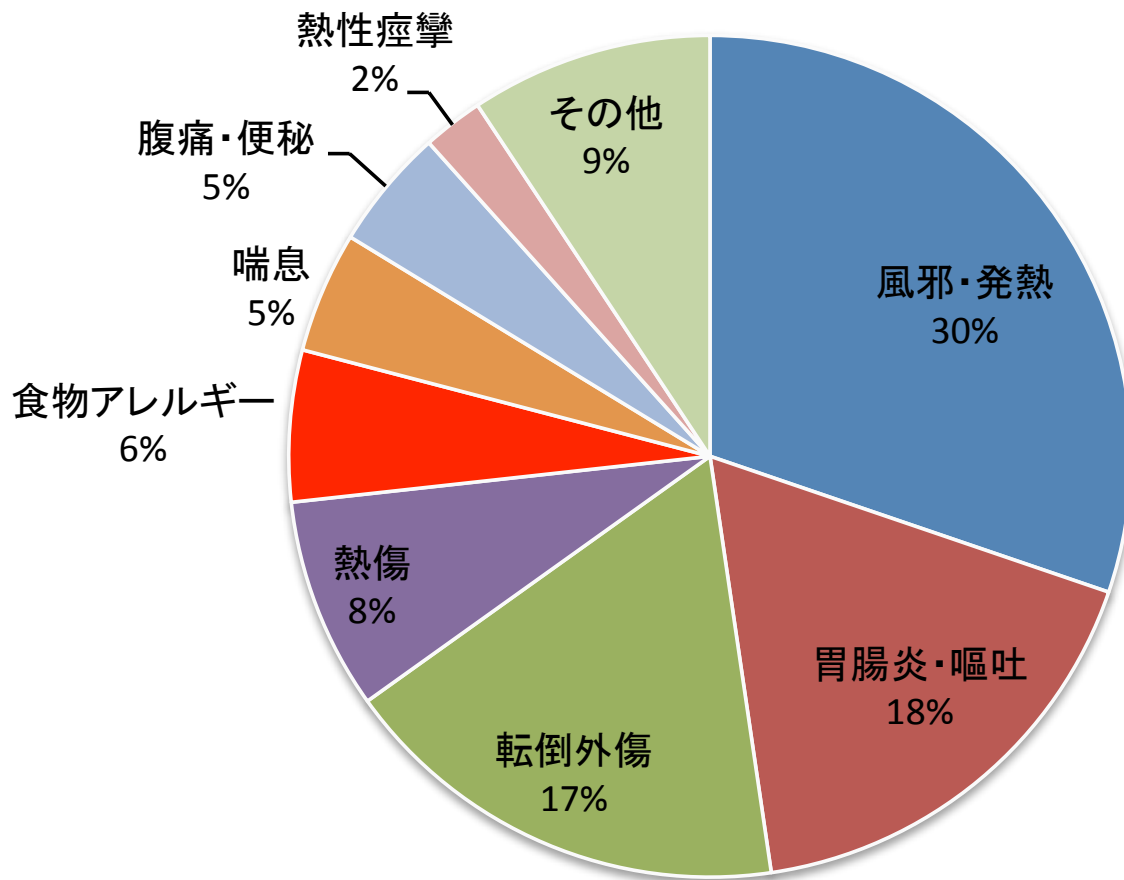
メインは変わらず

- 風邪
- 胃腸炎
- 転倒外傷
- 膀胱炎



旅行小児患者の病気は限定的

0-9歳までの疾患分類(n=86)



その他：鼻腔異物、耳孔閉鎖、鼻出血、中耳炎、水疱瘡、伝染性紅斑、発疹、機嫌不良

入院は5名(5.8%)

熱性痙攣 2名

食物アレルギー 2名

転倒外傷（骨折）1名

どのくらいの確率か？

東京都心で年間100人がER対応、残りの99,900人は？

%	頻度	東京では	重症度	類似確率
6	1/15人	100万人	旅行中体調を崩す	
1.5	1~2/100人	22万人	医療機関へ行くべき疾病	
0.7	1/100人	10万人	医療機関へ受診	双子の出産
0.1>	1/1000人	1.5万人	入院する疾病	宝くじ4等1万円
0.0006	1~2/50万人 (180人/日本)	90人	重態な病気・事故	英国内で理想の女性に 会える確率
0.00015	1~2/100万 人	22人	死亡	四つ子の出産

中連協事務局からの調査報告などを再計算

旅行客の患者のまとめ

コミュニケーションスキル以外は問題ない

- ほとんどが軽症



公益社団法人 東京都医師会

- ホテルへ帰ってから、日中も
- なぜ救外？、救急車？、大病院？



東京都医師会の先生の協力なくして解決はありません

新たな収入源とすべき → 課題解決

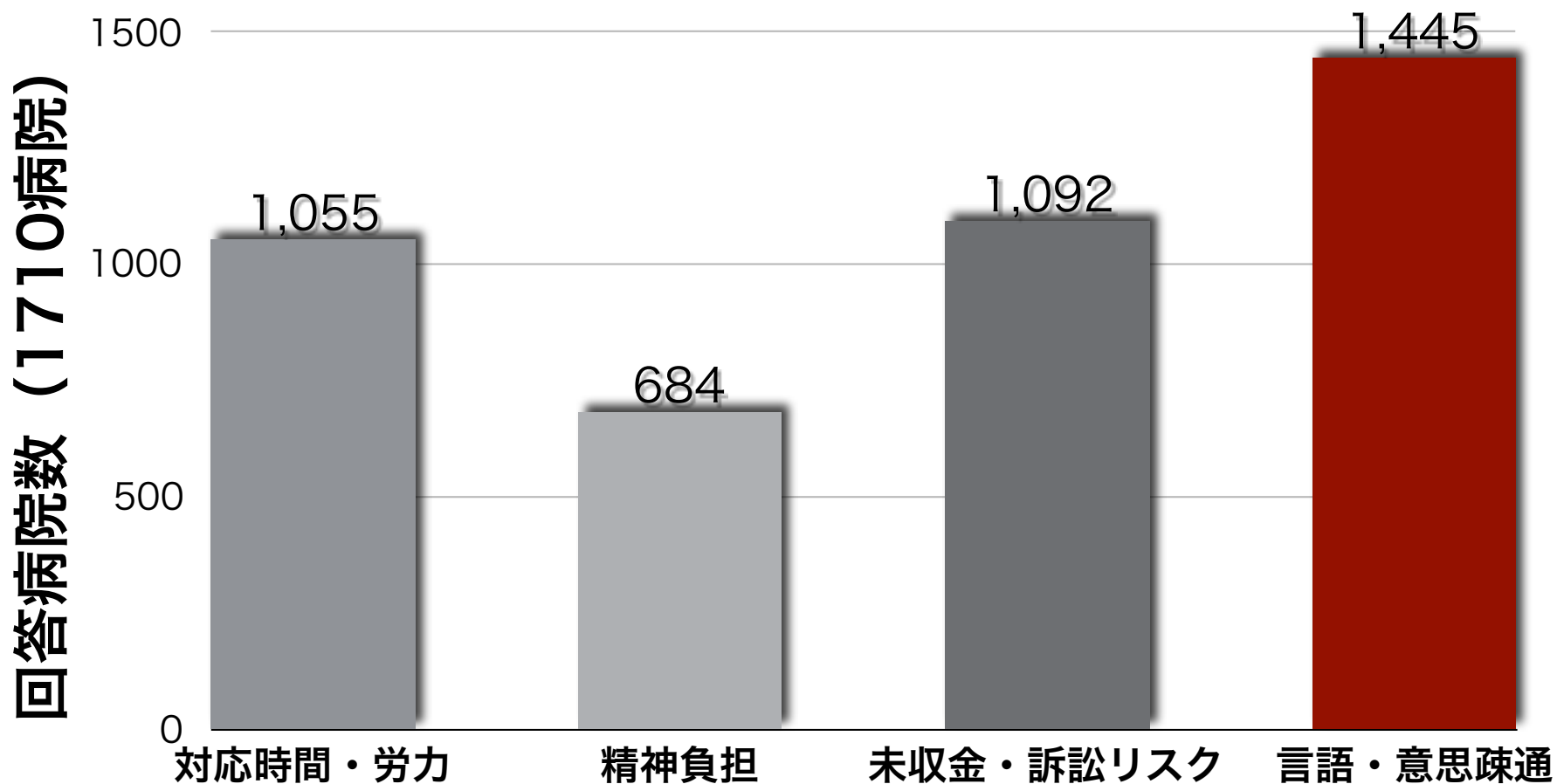
リスク管理として

看護師さん、事務の方々より相談は？

- ・ 相手の言葉がわからない
- ・ 患者の同意がとれない
- ・ トラブルが起きたら…

外国人患者の対応方針

コミュニケーションとリスク（未収金・医療）



外国人患者のトラブル事例



プロの目線

問題の先送りは現場の負担↗と国民の信頼↘

- 世界の医療は結果責任
- 通訳を使用するのは患者の権利
- 医療リスク↗、事実はある



Safe ≠ Security

- 対策していたが対応外であった→○（目指すところ）
- 対策していない→責任問題へ（ワーストシナリオ）

東京都の医療体制を国際化する

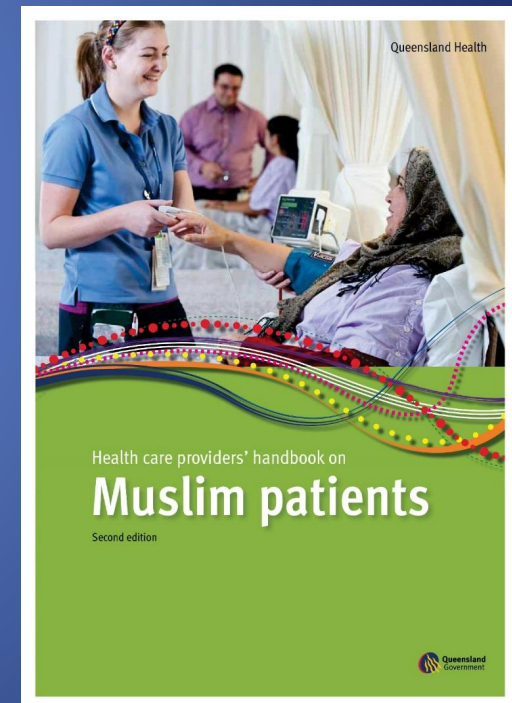
システムを作る

- コストから電話通訳 >> 医療通訳の配置
- 住民はアジア多言語、観光客は急病
- リスク管理（何もやっていない？）

国際都市、東京都医師会の矜持

WMA ジュネーブ宣言

『医師として年齢・疾病・もしくは障害・信条
民族的起源・ジェンダー・国籍・所属政治団体
人種・性的志向・社会的地位・あるいは
いかなる要因でもそのようなことに対する
配慮が介在することを容認しない』



島崎美奈子理事、外国人医療対策～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～、
日本医師会外国人医療対策会議、2018年7月4日

One Teamで日本らしさを

同胞として、組織として

